

じんけんネット吹田 この1年

4 ※役員・常任委員会(4・7・11・2月)

5 ※総会・憲法と市民のつどい(5月)



憲法と市民のつどい

5月24日(土) メイシアター中ホールにおいて「憲法と市民のつどい」を開催しました。テレビ番組等でも活躍中の弁護士三瀬顕さんに『やさしさの嘘』と題して、講演いただきました。法律に関する知識を織り交ぜながら、「幸せ」とはどういったことなのかについて、軽快な語り口で話されました。また、『寿』のお二人によるコンサート「沖縄からの南風」では、会場に響き渡る沖縄の歌と演奏に参加者のみなさんも大きな拍手をおくりました。



『寿』コンサート

6 ※協力企業部会活動(4月・6月)

※4月25日(金) 講演

「企業と人権」

講師 安藤 正彦さん

※6月16日(月) 講演

「吹田市就労支援事業の取組みについて」

講師 藤原 修身さん



※広島平和大使(8月)

吹田市は「非核平和都市宣言」20周年を記念し、核兵器廃絶と世界の恒久平和実現への願いを込めて「広島平和大使」という事業を実施しました。市民の代表として、吹田市内の中学校の代表生徒とともに、平和記念式典等に参加し、戦争の悲惨さや平和の尊さについて考える機会となりました。



8

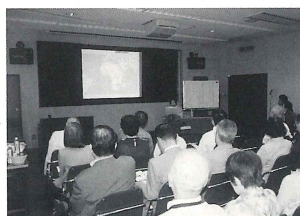
9 ※市民ひゅーまんセミナー(9月・10月)

※地区委員会代表研修会(9月)

9月27日(土) 男女共同参画センターにおいて、地域における人権啓発の推進役を担っている皆さんを中心に37名の参加を得て、開催しました。グランディール・ファシリテーター(青年海外協力協会所属)の原万紀子さんに「自分流の国際協力」～アフリカでの青少年育成に携わって～と題して、ジンバブエ共和国での活動について、語っていただきました。また、「広島平和大使」の派遣報告を団長の内野善弘さんが行いました。

「共に生きる社会をめざして」
李 美葉さん「ジャズから学ぶ人権」
嶋本 高之さん「気づいたら、どうする？」
加藤 敏明さん「福祉は文化」
衣川 哲夫さん

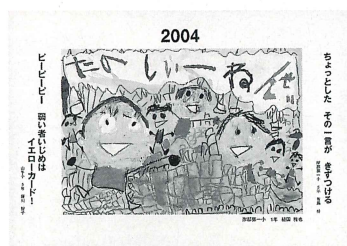
9月～10月、計4回にわたり各分野専門の方々をお招きして、人権に関わる様々な課題について多くの市民の皆さんとともに学習しました。



10 ※地域安全・青少年育成吹田市民大会(10月)

12 ※駅頭啓発活動(12月)

※人権フェスティバル(12月)



2004人権カレンダー



藤本 義一さん



等々力 政彦さん



絵本コンテスト受賞者

発行／吹田市人権啓発推進協議会

☎564-8550 吹田市泉町1-3-40

☎(06)6384-1231(代) 内線2595～8 FAX(06)6368-7345直通

(再生紙を使用しています)

吹田市 人権協だより



じんけんネット吹田

No. 16

平成16年(2004年)3月



講演される藤本義一さん



トッパ喉歌コンサート 等々力 政彦さん

2003 人権フェスティバル

会場：メイシアター 中ホール

12月7日(日) メイシアター中ホールにおいて、『2003人権フェスティバル』が開催されました。セレモニー、「人権のための絵本コンテスト」受賞者の表彰式に続いて、作家の藤本義一さんに「こころ」と題してご講演いただきました。藤本さんは、右脳を使うことや相手を思いやり、やさしい心で接することの大切さなど、心のあり方について例をあげて具体的に話されました。

その後、藤本さん原作の吹田市制作ドラマ「お母さんの顔が見える」が上映され、全盲の少年がまわりの人々に支えられながらたくましく生きていく様子に、会場では涙ぐむ方の姿も見られました。

最後に、等々力政彦さんによる「トッパ喉歌(フォーメイ)コンサート」が行われ、トッパ民族伝統音楽の心にしみる音色が、会場に響きました。



(佐竹台地区委員会)

「人権啓発・音楽の夕べ」 ピアノとクラリネットのハーモニー

11月23日（日）佐竹台市民ホールにおいて、若手演奏家の笹邊麻衣子さん（ピアノ）と檜垣絵里さん（クラリネット）によるクラシック演奏が行われました。プロデュースと音響の担当は、咲間稿一さん（青少年指導員）。80人の参加者は、深まりゆく秋の夕べを、時間が経つのを忘れて聴き入りました。

また、人権に関するトークをお願いした笹邊美和子さん（好日荘）は、「地域には、体のご不自由で、この会場に来られない方もいらっしゃいます。この方々への思いを常に温めながら、誰もがともに暮らしていくことが大切ですね。」と話されました。

“人権を守って、明るい佐竹台を”との願いを共有した音楽会でした。

(佐竹台地区委員会 萩原 昭夫)



(吹穴地区委員会)

講演会「ともに生きる」 ～芝田幸子さんと盲導犬ジェニー～

駅のホームで目の不自由な人が道を探していたら、どう声をかけたらいいのだろう。街で盲導犬が働いているのを見かけたときに、私たちは、どのように接したらいいのだろう。

そんな思いから吹穴地区委員会では、1月10日（土）芝田幸子さんと盲導犬ジェニーをお招きして、講演会を行いました。芝田さんは、ジェニーの実演もまじえながら丁寧にお話してくださいました。

盲導犬を育てる話、盲導犬とともに生きてきた話、ともに大変な苦労話でありながら、そこに人と犬、そして人と人との心温まるふれあいがあり、ともに生きることの素晴らしさを感じることができました。

(吹穴地区委員会 福井 博夫)

「奈良水平社博物館・大久保まちづくり館」見学会

千里新田地区委員会は、公民館との共催で11月20日（木）に研修会を実施し、御所市にある人権のふるさと「奈良水平社博物館」を見学しました。

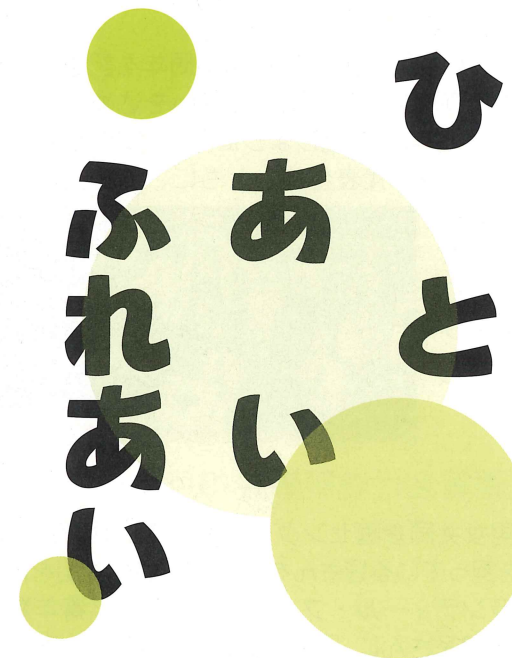
博物館の館内は、とてもわかりやすく展示されていました。中でも、ファンタビュシアターでは、映像によって当時の様子がそのまま再現されており、まるで「水平社」創立大会にタイムトラベルし私も同席しているかのように、差別と闘った人々の情熱が伝わってきました。そして、午後には、橿原市の「大久保まちづくり館」を訪れました。

この研修を通して、みんな等しく、仲よく、笑顔で暮らせる街づくりをしなければならないと再認識しました。

(千里新田地区委員会 山中 裕子)



(千里新田地区委員会)



(東山田地区委員会)

「世代交流凧作り・凧上げ大会」

1月10日（土）公民館の共催を得て「世代交流凧作り・凧上げ大会」が盛大に行われました。

この活動は、子どもたちに「和凧」の楽しさといろいろな人との「ふれあい」の大切さを体験させることを目的として、毎年実施しているものです。今年も小学生50人と一般参加の保護者15人を含め、ご指導いただく日本凧の会の先生方、お手伝いの高齢者クラブなどの有志の皆さん、総勢約90人が参加しました。

朝10時公民館で凧作りが始まり、昼食後、中学校に移って凧上げと5時間に及ぶ長丁場でした。風にも恵まれ、お手伝いの方の助けを借りながら、子どもたちの凧はつぎつぎと大空に舞いました。

小学校の校長先生も見守る中、三世代一体の歓声が校庭いっぱいに広がりました。

(東山田地区委員会 堤 久昭)

「大阪市舞洲障害者スポーツセンター」見学会

～障害者の理解を深めるために～

11月27日（木）、ウィークデーにもかかわらず、30名もの参加者が集まり、大阪市舞洲障害者スポーツセンター『アミティ舞洲』を訪れました。様々な障害をもった人たちが、スポーツとどのように関わっているのか、ほとんどの委員は知らなかったのではないのでしょうか。違いを互いに認め合い、スポーツを通じての仲間づくり、心の輪づくりに楽しんでいる人たちの目の当たりにし、驚きと感動を覚えました。また、センター指導員の方の説明を受けながら、温水プールやボーリング場等を見学し、施設の重要性や必要性を改めて考える良い機会を持つ事ができました。病気やけが、加齢等により、誰もが障害を持ちうることを再認識し、ともに生きることの出来る社会環境作りを目指し、地域から心をつなぐ輪を少しずつでも、広げていかなければと痛感させられた一日でした。

(千一地区委員会 辻本 興一)



(千一地区委員会)